

2020年度茨城大学模擬授業一覧

部局名：教育学部

No.	分類	授業科目名	学部・学科等	授業概要	担当教員		主な対象学年	備考	
					氏名	(キーワード)			
1	教科教育	教育と教科	教育学部 国語選修	教育と国語科の各領域(国語科教育、国語学、国文学、漢文学、書道等の研究)について学びます。はじめに学校教育における国語科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている国語科の研究について分かりやすく解説し、国語科の魅力を理解してもらいます。	川嶋秀之教授 昌子佳広教授 斎木久美教授 鈴木一史教授 宮崎尚子准教授	(国語学に関する研究) (国語科教育学に関する研究) (書写書道に関する研究) (国語科教育学に関する研究) (国文学に関する研究)	全学年	「50分授業対応可」	
2			教育学部 社会選修	教育と社会科の各領域(社会科教育、日本史及び外国史、地理学、「法学、政治学」、「社会学、経済学」、「哲学、倫理学、宗教学」等の研究)について学びます。はじめに学校教育における社会科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている社会科の研究について分かりやすく解説し、社会科の魅力を理解してもらいます。	村山朝子教授 木村勝彦教授 千葉真由美教授 中野雅紀准教授 大島規江准教授 新谷崇助教	(社会科・地理教育に関する研究) (社会科・公民教育に関する研究) (日本史に関する研究) (法学に関する研究) (外国地理に関する研究) (外国史に関する研究)		「50分授業対応可」	
3			教育学部 数学選修	教育と数学科の各領域(数学科教育、代数学、幾何学、解析学、確率統計学、コンピュータ等の研究)について学びます。はじめに学校教育における数学科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている数学科の研究について分かりやすく解説し、数学科の魅力を理解してもらいます。	小口祐一教授 梅津健一郎教授 松村初准教授 栗原博之准教授 吉井豊准教授 荻原文弘助教	(数学科教育) (解析学) (確率統計学、コンピュータ) (幾何学) (代数学) (数学科教育)		「50分授業対応可」	
4			教育学部 理科選修	教育と理科の各領域(物理学、化学、生物学、地学、理科教育の研究)について学びます。はじめに学校教育における理科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている理科の研究について分かりやすく解説し、理科の魅力を理解してもらいます。	永尾敬一准教授 青島政之准教授 阿部信一郎教授 栗田孝晴准教授 伊藤孝教授 上栗伸一准教授 宮本直樹准教授 郡司晴元准教授	(物理学・素粒子論) (化学・物理化学) (水域生態学・藻類学・保全生物学) (生物学・動物生態学・魚類生態) (地学・岩石鉱物学) (地学・地質学・地学教育) (理科教育学・理科の授業作り) (環境教育(特に自然体験系の環境教育)・自然人類学)		「50分授業対応可」 「簡単な実験を行う場合がある」	
5			教育学部 音楽選修	教育と音楽科の各領域(音楽科教育、器楽、声楽、ソルフェージュ、指揮法、音楽理論、音楽史等の研究)について学びます。はじめに学校教育における音楽科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている音楽科の研究について分かりやすく解説し、音楽科の魅力を理解してもらいます。	神部智教授 藤田文子准教授 谷川佳幸教授 山口哲人准教授 田中宏明准教授 門脇早穂子助教	(音楽学・音楽史) (音楽教育・歌唱指導) (声楽・オペラ) (作曲・編曲・指揮) (器楽・ピアノ) (音楽教育)		1,2年生	担当教員によっては、実技、講義等を行う事もあります。
6			教育学部 美術選修	教育と美術科の各領域(作品鑑賞教育、実技制作の絵画、彫刻、デザイン等、美術史、美術理論等の研究)について学びます。はじめに学校教育における美術科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている美術科の制作及び研究について分かりやすく解説し、担当教員によっては実技の体験をし、美術科の魅力を理解してもらいます。	島剛教授 島田裕之教授 甲斐教行教授 片口直樹准教授 小口あや助教	(彫刻、基礎デッサン) (平面デザイン、映像・アニメーション) (西洋美術史、作品比較) (絵画、人物クロッキー) (鑑賞教育)		全学年	50分授業対応可 担当教員によっては実技を伴う講座もある DVDプレーヤー、プロジェクター等の視聴覚機器を必要とする場合もある
7			教育学部 保健体育選修	教育と保健体育科の各領域(保健体育科教育、体育実技、体育学、運動学、生理学、衛生学、学校保健等の研究)について学びます。はじめに学校教育における保健体育科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている保健体育科の研究について分かりやすく解説し、保健体育科の魅力を理解してもらいます。	勝本真教授 富樫泰一教授 吉野聡教授 上地勝教授 渡邊将司准教授 中嶋哲也准教授 大津展子講師 篠田明音講師	(運動方法学、バレーボール) (バイオメカニクス、水泳、スキー) (保健体育科教育学、サッカー) (健康教育、疫学、ボディワーク) (形態学、陸上競技) (体育史、柔道) (体育科教育学、ソフトボール) (運動学、ダンス)			「50分授業対応可」 「担当教員によっては実技を行う場合がある」

No.	分類	授業科目名	学部・学科等	授業概要	担当教員		主な対象学年	備考
					氏名	(キーワード)		
8	教科教育	教育と教科	教育学部 技術選修	中学校技術・家庭科技術分野の内容「A 材料と加工の技術」「B 生物育成の技術」「C エネルギー変換の技術」「D 情報の技術」について学びます。はじめに学校教育における技術科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている「技術科教育、木材加工、金属加工、機械、電気、生物育成、情報とコンピュータ」の研究について分かりやすく解説します。そして、技術が果たす役割や環境への配慮などにも触れ、技術科の魅力を理解してもらいます。	工藤雄司教授 野崎英明教授 榊守教授 臼坂高司准教授 大西有准教授	(技術教育, 情報教育, 工業教育, 教材開発) (技術教育, 材料, 加工, 材料力学) (電力, 電気, 電子, デバイス) (木材加工, 技術教育, ものづくり, 教育工学) (技術教育, 見方・考え方, 最適解, 生物育成, 環境調節)		「50分授業対応可」 「簡単な実験を行う場合がある」
9			教育学部 家庭選修	家庭科は、よりよい生活に向けて、自立と共生のための基礎的な考え方や知識・技術を学びます。同時に、家族・子ども、衣食住、消費生活と環境などをめぐる諸問題を探求し解決する力を育成します。この授業では、教育と家庭科の各領域(家庭科教育、家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学等の研究)について学びます。はじめに学校教育における家庭科の役割を紹介し、その後授業を担当する教育学部教員が行っている家庭科の研究について分かりやすく解説し、家庭科の魅力を理解してもらいます。	木村美智子教授 数井みゆき教授 野中美津枝教授 佐藤裕紀子教授 西川陽子教授 石島恵美子准教授	(被服学, 洗浄科学, 生活環境学) (保育学, 乳幼児の育ちと養育者の関わり) (家庭科教育, 消費者教育, 生活科学) (家庭経営学, 家族関係学) (食物科学 栄養学 食生活 食文化) (家庭科教育学, 調理学, 地域連携)		「50分授業対応可」 「簡単な実験を行う場合がある」
10	教育実践科学	教育と子ども	教育学部	近年の教育現場では、多様な教育問題が起こっています。いじめ、不登校、校内暴力等、子どもたちが学校で集団生活をおくる際には様々な問題があります。これからの教師には、こうした教育問題と向き合い、子どもたちために何が出来るかが大切です。学校とは何か、学力とは何か、児童生徒の心理はどうなっているか、ICT教育はどうすればいいのか等々、教育の多様な問題を皆さんと一緒に考えていきましょう。	今泉友里助教 打越正貴教授 小川哲哉教授 生越達教授 加藤崇英教授 神永直美教授 小林祐紀准教授 佐藤環教授 杉本恵子准教授 照屋翔大准教授 丸山広人准教授 三輪壽二教授 渡部玲二郎教授 宮本浩紀助教	(アクティブ・ラーニングを支える心理学、教師教育を大学が担う意味、大学での学び) (教育実践、授業研究、学級経営) (子ども、教育的配慮、教育思想) (教育とは何か、学びの楽しさ、現代子ども論) (近代学校制度の形成、学級編制のしくみ、義務教育の制度) (幼児教育、保育、遊び、保幼小の接続) (初等中等教育におけるICT活用、小学校プログラミング教育、学び合いを取り入れた教育実践・授業研究、情報モラル教育) (義務教育制度、不登校を考える、江戸時代と現代の学校を対比する) (子ども、学び、授業) (教育・学校の国際比較、教育改革、学校の条件) (臨床心理学、心理療法、描いて分かる心、スクールカウンセリング) (悩むということ、こころを測るということ、相談にのるということ、カウンセリング、自己理解) (不合理な信念と精神的健康、他者に対する期待、他者理解) (教育学、子ども、生きるということ)	全学年	
11	特別支援教育	教育と障害児	教育学部 特別支援教育	特別支援学校では、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者への教育を行っています。茨城大学教育学部では特に知的障害・肢体不自由・病弱者の3つの領域を中心に学修しています。この授業では、はじめに本学の特別支援教育コースの概要を紹介した上で、その後授業を担当する各教員の専門性を基盤として、特別支援教育に関連する話題について様々な視点から話をしていきます。たとえば、障害、不登校、文化的・言語的マイノリティーの子どもの教育的配慮であったり、障害の疑似体験を通じた障害者支援のあり方を考えていきます。あるいは、障害の背景にある心理および生理的機能の側面からお話しする場合もあります。たとえば、聴覚機能であったり、知能の捉え方であったり、目に見えない注意機能の話などを、特別支援教育と関連させながら解説していきます。これらの講義を通して、特別支援教育に求められる分野の魅力を理解してもらいます。	荒川智教授 勝二博亮教授 新井英靖教授 細川美由紀准教授 田原敬講師	(障害、不登校、文化的・言語的マイノリティーの子ども) (注意、機能評価、発達障害) (障害の疑似体験、障害理解) (知能、知的障害、発達) (音響学、聴覚障害、聴覚心理学)		「50分授業対応可」 「簡単な体験を行う場合がある」
12	教育保健	教育と健康	教育学部 養護教諭養成課程	養護教諭とは、学校の保健室の先生のことです。養護教諭は学校で子どもたちの心身の健康を守り、より健康になれるよう支えています。この授業では、教育と養護教諭として活動するにあたり、養護教諭に求められる各々の分野(衛生学及び公衆衛生学、学校保健、養護概説、健康相談活動、栄養学、解剖学及び生理学、免疫学、薬理学、精神保健、看護学、救急処置等)について学びます。はじめに学校教育における養護教諭の果たす役割を紹介し、その後、授業を担当する教育学部教員が行っている養護教諭や学校保健に関する分野の研究について分かりやすく解説し、養護教諭に求められている分野の魅力を理解してもらいます。	瀧澤利行教授 廣原紀恵教授 青柳直子教授 古池雄治教授 石原研治教授 竹下智美講師	(衛生学、公衆衛生学、学校保健学、健康教育学) (学校看護学、発育発達、学校保健) (時間生物学、健康教育学) (医学、小児科学) (解剖学、生化学、薬理学、再生医療) (養護学、養護実践学、健康相談活動、保健指導)	1,2年生	「50分授業対応可」 「簡単な実験を行う場合がある」 「ワークをすることもある」 「場合により、自分の小学1年生から現在までの身長、体重の記録を準備しておくこと」